令和８年度　墨田区立桜堤中学校　学校だより　＜１０月号＞

NEW EDUCATION AND TRADITION

スローガン：つなぐ伝統　築こう未来

【教育目標】確かな知性　豊かな感性　健全な心身

発行日：令和8年10月9日(金)
発行者：校長　吉岡　大司

「習慣」

校長　吉岡　大司

10 月に入り、本日、前期終業式を迎えました。例年の残暑ではなく、雨が続いた毎日から晴れ間が戻り、朝夕の空気が多少涼しく感じられるようにもなりました。

秋は、自然が色づき、空が高く澄み渡る、美しい季節です。そして、昔から「スポーツの秋」「読書の秋」「学びの秋」と言われるように、心も体も成長できる季節でもあります。

昨日の連合陸上競技大会では、代表生徒の真剣な表情、仲間を応援する声、最後まで諦めずに走る姿に、私はとても感動しました。スポーツは、体力だけでなく、協力する力や挑戦する勇気を育ててくれます。勝ち負けだけではなく、努力する過程や仲間との絆が、皆さんの人間力を高めてくれるのです。 一方で、秋は、集中力が高まり、学習にも適した季節です。

来週から、後期に入ります。前期の反省を活かし、授業や家庭学習にしっかり取り組むことで自分の可能性を広げることができます。また、後期は、学力を伸ばすチャンスです。「できない」ではなく、「どうすればできるようになるか」を考える姿勢が大切です。

そして「自分に合った学び方」をすることも大切です。

「考えたことは、言葉となり、言葉は、行動となり、行動は、習慣となり、習慣は、人格となり、人格は、運命となる」という日本語で訳された言葉があります。

この言葉は、イギリスで初の女性首相マーガレットサッチャー氏の言葉です。

「自分自身を見つめる」ということ、見つめるという行為を「習慣」とすることが大切です。

後期も、生徒達、一人ひとりが「習慣」を身に付け、これからの成長に期待しています

さて、スポーツで体を鍛え、学びで頭を鍛える。どちらもバランスよく取り組むことで、心も体も健康に育ちます。本校では、10月より、日本体育大学が運営する NITTAI クラブと連携し、本校の運動部活動を地域スポーツクラブとして支えていく「東京モデル」を準備し、進める予定です。これは、専門的な知識や技術をもった指導者による指導を受けられることに加え、日本体育大学の学生との交流や大学施設の活用など、これまで以上に豊かな学びや経験が期待できます。そしてこれは部活動をなくすことが目的ではありません。これまでの部活動の良さを大切にし、専門的な指導や大学との連携によって、子どもたちの学びや成長の機会をさらに充実させていこうという取組です。校長として、東京都でも先駆的なこの挑戦を、ぜひ子どもたちのために実現したいと考えています。

結びに、10月24日(土)には、文化祭を開催いたします。どの生徒も力を十分に発揮し、きらきらと輝く日になることでしょう。当日は、生徒達や保護者の皆様にとっても、「芸術の秋」を満喫する1日になることを願っています。その成功のためには、一つひとつを、ただやるのではなく、「心に残るもの」にするために皆の力が必要です。その中心に立つのが、生徒会選挙で選ばれた会長を中心とした生徒会役員です。期待しています。

令和8年度の前期も全校生徒501人が、安全・健康に過ごすことができました。

これは、日頃より、地域や保護者の方々の温かい見守りや声かけによって、大きく成長できたのだと感じています。あらためまして感謝申し上げます。

連合陸上競技大会が無事に終わりました

10月8日(木)に開催された連合陸上競技大会に、本校代表選手が出場しました。大会前日には壮行会を行い、全校生徒で選手たちにエールを送りました。選手紹介や応援を通して、学校全体で選手たちの健闘を願う温かな雰囲気が生まれ、本番へ向けて大きな励みとなりました。



大会当日、選手たちはこれまで積み重ねてきた練習の成果を十分に発揮し、最後まで粘り強く競技に臨みました。その結果、男子は見事優勝、女子は第3位、男女総合では第3位という素晴らしい成績を収めることができました。総合優勝とはわずか9点差であり、一つひとつの競技に全力で取り組んだ選手たちの努力が光る大会となりました。

また、競技に出場した選手だけでなく、仲間の頑張りを信じて応援する生徒たちの姿にも、本校生徒のよさが表れていました。大会を通して、目標に向かって努力することの大切さや仲間と支え合うことの大切さを改めて実感できたことと思います。



当日は多くの保護者の皆様にも会場へお越しいただき、温かいご声援をいただきました。皆様の応援は選手たちにとって大きな力となり、最後まで全力で競技に臨む原動力となりました。

ご多用の中、応援に駆け付けてくださいました保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

来週から後期がスタートします。

9月30日(水)に、生徒会役員選挙が行われました。立候補した生徒たちは、「学校をよりよくしたい」という思いをもち、それぞれの公約や考えを全校生徒に向けて堂々と発表しました。推薦責任者も立候補者の人柄や意欲を力強く伝え、学校の未来について考える貴重な機会となりました。

投票は、実際の選挙で使用されるものと同様の投票箱を用いて行われました。生徒たちは本格的な選挙の雰囲気を感じながら、一票に込められた責任や重みを意識して投票に臨んでいました。こうした経験は、将来社会の一員として主体的に行動していくための大切な学びにつながることと思います。

来週からはいよいよ後期が始まります。新たな生徒会役員を中心として学校生活がスタートするとともに、各学級では係活動が、学校全体では専門委員会活動が新しい体制へと引き継がれます。学校生活をよりよいものにしていくためには、生徒会役員や委員長だけでなく、一人ひとりが自分の役割に責任をもち、主体的に活動することが大切です。



後期には文化祭や合唱発表会など、大きな行事が予定されています。特に合唱発表会に向けた練習も本格的にスタートし、校内には歌声が響き始めています。一人ひとりが自分の役割を果たしながら仲間と力を合わせ、実り多い後期となることを期待しています。